

漱石山房記念館特別展

漱石と

鈴木三重吉

広島のかけまこふみの加計正文との交流を軸に



『三重吉全集』第二編「赤い鳥」表紙より
装丁 津田青楓

夏目漱石



鈴木三重吉



加計正文



写真上から夏目漱石(『漱石写真帖』より)、鈴木三重吉(個人蔵)、加計正文(個人蔵)

2019年

3月19日〔火〕▼5月6日〔月・休〕

新宿区立漱石山房記念館

開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

休館日 3月25日、4月1日・8日・15日・22日(すべて月曜日)

観覧料 一般500円、小中学生100円

※団体(20人以上)は個人の観覧料の半額。

※小中学生は土日祝日等、観覧無料日があります。

※障害者手帳等をお持ちの方は手帳の提示で無料になります。

※4月6日(土)のレガスマつり開催日は無料。

主催 新宿区立漱石山房記念館(公益財団法人新宿未来創造財団)

共催 新宿区・新宿区教育委員会

後援 広島県安芸太田町

協力企業 ヤマトグローバルロジスティクスジャパン
中島国彦・石崎等



ロウ管式蓄音機と漱石の声が録音されたロウ管(個人蔵) ※現在は再生不能

漱石と 鈴木三重吉

広島への加計正文との交流を軸に

鈴木三重吉は、東京帝国大学で夏目漱石の講義を聞き、漱石に深い敬愛の念を寄せていました。三重吉が大学休学中に郷里広島で書いた短篇「千鳥」は漱石に激賞され、小説家として歩みはじめます。ともに大学で漱石の教えを受け、のちに広島に戻った同郷の親友加計正文に宛てた三重吉の手紙には、漱石との交流や創作活動への思いが語られています。

その後、三重吉は活動の場を小説から童話へと移し、大正七（一九一八）年に児童雑誌『赤い鳥』を創刊します。そこには、漱石山房につとった芥川龍之介・小宮豊隆・森田草平らも、三重吉の考えに賛同し作品を寄せています。

本展では、漱石から三重吉と加計に、三重吉から加計に宛てた手紙などを通して、小説家時代の三重吉に焦点をあてます。あわせて漱石ゆかりの作家たちや、三重吉が晩年住んだ新宿と関係が深い作家たちの『赤い鳥』掲載作品もご紹介いたします。

- 第一章 漱石との出会い
— ふるさと広島への友人へ語る思い —
- 第二章 漱石門下生として
— 小説家・鈴木三重吉 —
- 第三章 そして『赤い鳥』へ



鈴木三重吉 加計正文あて絵はがき
明治38(1905)年8月4日 個人蔵
大学休学中に療養のため能美島へ向かう三重吉のつらい胸のうちを吐露している。鳥で処女作「千鳥」の題材を得て、小説家の道を歩み出した。



『三重吉全作集』全13巻 鈴木三重吉方
大正4(1915)年2月～大正5(1916)年7月刊行
小説家・三重吉の集大成となった作品集。背文字は漱石によるもので、第10巻までの装丁は津田青楓が務めた。



鈴木三重吉『千代紙』俳書堂
明治40(1907)年4月刊行
「三月七日」、「千鳥」、「山彦」の3作をあわせた三重吉初の短編集。序文は漱石、装丁は漱石門下で俳人の松根東洋城、校正は同じく門下の小宮豊隆が担当した。



『赤い鳥』昭和11(1936)年10月
鈴木三重吉追悼号
三重吉が主宰した『赤い鳥』は第一線の作家が作品を寄せ、全196冊が発行された。



夏目金之助(漱石) 鈴木三重吉あて書簡 明治39(1906)年4月14日 広島市立中央図書館蔵
漱石が絶賛した三重吉の処女作「千鳥」について、高浜虚子の感想を三重吉に伝えている。

ギャラリートーク 担当学芸員による展示解説

日時 | 3月23日・30日、4月6日・13日・27日・5月4日の各土曜日 14時～(30分程度)
会場 | 漱石山房記念館2階展示室
申込 | 不要(観覧券が必要です)

『赤い鳥』朗読会

特別展に関連する作品の朗読をお楽しみください。
日時 | 3月23日、4月13日・27日の各土曜日 14時45分～15時30分
朗読 | ふみのしおり(新宿歴史博物館ボランティアの会)
会場 | 漱石山房記念館地下1階講座室
申込 | 不要(先着70名)

記念講演会 要申込

1. 「鈴木三重吉の文学的出発をめぐって」
日時 | 3月31日(日)14時～16時
講師 | 中島国彦(早稲田大学名誉教授/日本近代文学館専務理事)
申込 | 3月17日(日)必着
2. 「漱石山房と鈴木三重吉と『赤い鳥』」
日時 | 4月20日(土)14時～16時
講師 | 宮川健郎(武蔵野大学文学部教授/大阪国際児童文学振興財団理事長)
申込 | 4月3日(水)必着

1. 2. 共通
会場 | 漱石山房記念館地下1階講座室
定員 | 各70名(申込多数の場合は抽選)
料金 | 各500円(特別展招待券付)

1. 2. は別々にお申込みください。1応募1名。往復はがきに講演会名・住所・氏名・電話番号・メンバーズ倶楽部会員は会員番号を明記の上、漱石山房記念館へ。当館ホームページからもお申込みできます。

新宿区立漱石山房記念館

〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町7
TEL.03-3205-0209 FAX.03-3205-0211 <http://soseki-museum.jp>

交通のご案内

電車 | 東京メトロ東西線「早稲田駅」1番出口より徒歩10分
都営地下鉄大江戸線「牛込柳町駅」東口より徒歩15分
バス | 都営バス(白61)「牛込保健センター前」より徒歩2分
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。



CAFE SOSEKI

特別展 期間限定メニュー



三重吉の
ネーブルアイスクリーム
¥432(税込) ※ラストオーダー17時
なくなり次第、販売終了。